

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年1月17日

協議会名: 新潟県生活交通確保対策協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
新潟交通(株)					
1 新潟交通(株)	新潟～豊栄	・ダイヤ改正及び競合路線との時刻調整を実施した。 ・りゅーと20万枚謝恩キャンペーンでバスラッピング、ICカード出張販売を実施。また、夏休みこどもりゅーと50円バスを実施しICカードの普及促進を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 【達成状況】 輸送人員前年度比較: 97 % (H30: 154 千人 → R1: 150 千人) 【未達成の主な理由】 暖冬による通勤、通学利用者の減少。	・利用動態を分析し、ダイヤ改正及び競合路線の時刻調整を検討する。 ・関係市町村などと協議し、地域内交通の相互連携を検討する。 ・ICカードの普及・利用促進及び商業施設との連携による利用促進を検討する。
新潟交通観光バス(株)					
2 新潟交通観光バス(株)	新潟～新発田	・新発田市内のコミバス等の地域内交通路線・ダイヤの見直しによる相互連携により利便性アップを図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 【達成状況】 輸送人員前年度比較: 97 % (H30: 361 千人 → R1: 349 千人) 【未達成の主な理由】 少子高齢化による通勤・通学利用者の減少	・バス利用者の動態を精査し、市町村などと連携して、より効率的な運行となるよう運行計画の見直しなどを検討する。
3 新潟交通観光バス(株)	新潟～水原	・所要時分の見直しによる定時性・利便性アップを図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A 【達成状況】 輸送人員前年度比較: 102 % (H30: 198 千人 → R1: 201 千人)	・バス利用者の動態を精査し、市町村などと連携して、より効率的な運行となるよう運行計画の見直しなどを検討する。
4 新潟交通観光バス(株)	新潟～新津①	・所要時分の見直しによる定時性・利便性アップを図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 【達成状況】 輸送人員前年度比較: 94 % (H30: 72 千人 → R1: 68 千人) 【未達成の主な理由】 少子高齢化による通勤・通学利用者の減少	・バス利用者の動態を精査し、市町村などと連携して、より効率的な運行となるよう運行計画の見直しなどを検討する。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
5 新潟交通観光バス(株)	新潟～京ヶ瀬	・所要時分の見直しによる 定時性・利便性アップを 図った。	A 事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施された	A 【達成状況】 輸送人員前年度比較: 100 % (H30: 58 千人 → R1: 58 千人)	・バス利用者の動態を精査し、 市町村などと連携して、より効 率的な運行となるよう運行計画 の見直しなどを検討する。
6 新潟交通観光バス(株)	新潟～新津②	・所要時分の見直しによる 定時性・利便性アップを 図った。	A 事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施された	A 【達成状況】 輸送人員前年度比較: 104 % (H30: 69 千人 → R1: 72 千人)	・バス利用者の動態を精査し、 市町村などと連携して、より効 率的な運行となるよう運行計画 の見直しなどを検討する。
7 新潟交通観光バス(株)	新潟～小須戸	・所要時分の見直しによる 定時性・利便性アップを 図った。	A 事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施された	B 【達成状況】 輸送人員前年度比較: 93 % (H30: 110 千人 → R1: 102 千人) 【未達成の主な理由】 少子高齢化による通勤・通学利用者 の減少	・バス利用者の動態を精査し、 市町村などと連携して、より効 率的な運行となるよう運行計画 の見直しなどを検討する。
8 新潟交通観光バス(株)	新潟～月潟	・所要時分の見直しによる 定時性・利便性アップを 図った。	A 事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施された	A 【達成状況】 輸送人員前年度比較: 100 % (H30: 138 千人 → R1: 138 千人)	・バス利用者の動態を精査し、 市町村などと連携して、より効 率的な運行となるよう運行計画 の見直しなどを検討する。
9 新潟交通観光バス(株)	新津～白根①	・所要時分の見直しによる 定時性・利便性アップを 図った。	A 事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施された	A 【達成状況】 輸送人員前年度比較: 100 % (H30: 26 千人 → R1: 26 千人)	・バス利用者の動態を精査し、 市町村などと連携して、より効 率的な運行となるよう運行計画 の見直しなどを検討する。
10 新潟交通観光バス(株)	新津～白根②	・所要時分の見直しによる 定時性・利便性アップを 図った。	A 事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施された	A 【達成状況】 輸送人員前年度比較: 108 % (H30: 39 千人 → R1: 42 千人)	・バス利用者の動態を精査し、 市町村などと連携して、より効 率的な運行となるよう運行計画 の見直しなどを検討する。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
共同運行(①新潟交通観光バス(株)、②泉観光バス(株)、③蒲原鉄道(株))					
11 共同運行 (①新潟交通観光バス(株)、②泉観光バス(株)、③蒲原鉄道(株))	五泉高校前～さくらアリーナ前・村松支所～五泉高校前	・五泉市協議会との連携を密にし、利用者要望を把握しダイヤ改正等を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 【達成状況】 輸送人員前年度比較: 100 % (H30: 65 千人 → R1: 65 千人)	・利用者維持を目標とする。 ・バス事業者・市町村協議会と連携し地域内交通との相互連携により、利便性を確保する。さらに、協議会と協議の上、ダイヤ改正などを実施予定。
越佐観光バス(株)					
12 越佐観光バス(株)	長辰～燕三条駅	利用者からの要望に応え平日以外に運行日を設定した	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 【達成状況】 輸送人員前年度比較: 97 % (H30: 33 千人 → R1: 32 千人) 【未達成の主な理由】 高齢者の利用者減少による	・市町村等と連携し、より効率的な運行となるよう運行計画の見直しを検討する。 ・利用者からの要望を取り入れサービスの向上を図る。
越後交通(株)					
13 越後交通(株)	長岡～三条	・運行回数0.5回増を行い利便性の向上を図った。 ・夏休み期間に小学生50円キャンペーンを行い利用促進を実施。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A 【達成状況】 輸送人員前年度比較: 125 % (H30: 52 千人 → R1: 65 千人)	・バス事業者、市町村等と連携し、より効率的な運行となるよう運行計画の見直しなどを検討する。
14 越後交通(株)	長岡～分水②	・系統の統廃合を行い効率化を実施。 ・夏休み期間に小学生50円キャンペーンを行い利用促進を実施。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A 【達成状況】 輸送人員前年度比較: 115 % (H30: 47 千人 → R1: 54 千人)	・バス事業者、市町村等と連携し、より効率的な運行となるよう運行計画の見直しなどを検討する。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
15 越後交通(株)	長岡～今町	<ul style="list-style-type: none"> ・運行回数1.0回増を行い利便性の向上を図った。 ・夏休み期間に小学生50円キャンペーンを行い利用促進を実施。 	A	【達成状況】 輸送人員前年度比較: 107 % (H30: 30 千人 → R1: 32 千人)	<ul style="list-style-type: none"> ・バス事業者、市町村等と連携し、より効率的な運行となるよう運行計画の見直しなどを検討する。
16 越後交通(株)	(急行) 長岡～栃尾①	<ul style="list-style-type: none"> ・運行回数の維持、利便性の確保に努めた。 ・夏休み期間に小学生50円キャンペーンを行い利用促進を実施。 	A	【達成状況】 輸送人員前年度比較: 93 % (H30: 74 千人 → R1: 69 千人) 【未達成の主な理由】 ・沿線の通勤・通学及び病院への利用に関する利用者減のため	<ul style="list-style-type: none"> ・バス事業者、市町村等と連携し、より効率的な運行となるよう運行計画の見直しなどを検討する。 ・年々利用者数が減少していることから利用者の動態を精査し、沿線利用者の利便性確保を目指す。
17 越後交通(株)	(急行) 長岡～栃尾②	<ul style="list-style-type: none"> ・運行回数の維持、利便性の確保に努めた。 ・夏休み期間に小学生50円キャンペーンを行い利用促進を実施。 	A	【達成状況】 輸送人員前年度比較: 121 % (H30: 72 千人 → R1: 87 千人)	<ul style="list-style-type: none"> ・バス事業者、市町村等と連携し、より効率的な運行となるよう運行計画の見直しなどを検討する。
18 越後交通(株)	(快速) 長岡～栃尾	<ul style="list-style-type: none"> ・運行回数の維持、利便性の確保に努めた。 ・夏休み期間に小学生50円キャンペーンを行い利用促進を実施。 	A	【達成状況】 輸送人員前年度比較: 98 % (H30: 42 千人 → R1: 41 千人) 【未達成の主な理由】 ・沿線の通勤・通学及び病院への利用に関する利用者減のため	<ul style="list-style-type: none"> ・バス事業者、市町村等と連携し、より効率的な運行となるよう運行計画の見直しなどを検討する。 ・年々利用者数が減少していることから利用者の動態を精査し、沿線利用者の利便性確保を目指す。
19 越後交通(株)	長岡～見附①	<ul style="list-style-type: none"> ・運行回数の維持、利便性の確保に努めた。 ・夏休み期間に小学生50円キャンペーンを行い利用促進を実施。 	A	【達成状況】 輸送人員前年度比較: 58 % (H30: 59 千人 → R1: 34 千人) 【未達成の主な理由】 ・沿線の通勤・通学の利用に関する利用者減のため	<ul style="list-style-type: none"> ・バス事業者、市町村等と連携し、より効率的な運行となるよう運行計画の見直しなどを検討する。 ・年々利用者数が減少していることから利用者の動態を精査し、沿線利用者の利便性確保を目指す。
20 越後交通(株)	長岡～見附②	<ul style="list-style-type: none"> ・運行回数の維持、利便性の確保に努めた。 ・夏休み期間に小学生50円キャンペーンを行い利用促進を実施。 	A	【達成状況】 輸送人員前年度比較: 137 % (H30: 59 千人 → R1: 81 千人)	<ul style="list-style-type: none"> ・バス事業者、市町村等と連携し、より効率的な運行となるよう運行計画の見直しなどを検討する。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
21 越後交通(株)	長岡～見附③	<ul style="list-style-type: none"> ・運行回数の維持、利便性の確保に努めた。 ・夏休み期間に小学生50円キャンペーンを行い利用促進を実施。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 【達成状況】 輸送人員前年度比較： 90 % (H30: 40 千人 → R1: 36 千人) 【未達成の主な理由】 ・沿線の通勤・通学及び病院への利用に関する利用者減のため	<ul style="list-style-type: none"> ・バス事業者、市町村等と連携し、より効率的な運行となるよう運行計画の見直しなどを検討する。 ・年々利用者数が減少していることから利用者の動態を精査し、沿線利用者の利便性確保を目指す。
22 越後交通(株)	(急行) 長岡～寺泊①	<ul style="list-style-type: none"> ・運行回数の維持、利便性の確保に努めた。 ・夏休み期間に小学生50円キャンペーンを行い利用促進を実施。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 【達成状況】 輸送人員前年度比較： 95 % (H30: 82 千人 → R1: 78 千人) 【未達成の主な理由】 ・沿線の通勤・通学の利用に関する利用者減のため	<ul style="list-style-type: none"> ・バス事業者、市町村等と連携し、より効率的な運行となるよう運行計画の見直しなどを検討する。 ・年々利用者数が減少していることから利用者の動態を精査し、沿線利用者の利便性確保を目指す。
23 越後交通(株)	(急行) 長岡～寺泊②	<ul style="list-style-type: none"> ・運行回数の維持、利便性の確保に努めた。 ・夏休み期間に小学生50円キャンペーンを行い利用促進を実施。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A 【達成状況】 輸送人員前年度比較： 102 % (H30: 48 千人 → R1: 49 千人)	<ul style="list-style-type: none"> ・バス事業者、市町村等と連携し、より効率的な運行となるよう運行計画の見直しなどを検討する。
24 越後交通(株)	長岡～小島谷	<ul style="list-style-type: none"> ・運行回数の維持、利便性の確保に努めた。 ・夏休み期間に小学生50円キャンペーンを行い利用促進を実施。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 【達成状況】 輸送人員前年度比較： 92 % (H30: 25 千人 → R1: 23 千人) 【未達成の主な理由】 ・沿線の通勤・通学の利用に関する利用者減のため	<ul style="list-style-type: none"> ・バス事業者、市町村等と連携し、より効率的な運行となるよう運行計画の見直しなどを検討する。 ・年々利用者数が減少していることから利用者の動態を精査し、沿線利用者の利便性確保を目指す。
25 越後交通(株)	長岡～十日町	<ul style="list-style-type: none"> ・運行回数の維持、利便性の確保に努めた。 ・夏休み期間に小学生50円キャンペーンを行い利用促進を実施。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 【達成状況】 輸送人員前年度比較： 90 % (H30: 136 千人 → R1: 123 千人) 【未達成の主な理由】 ・沿線の通勤・通学及び病院への利用に関する利用者減のため	<ul style="list-style-type: none"> ・バス事業者、市町村等と連携し、より効率的な運行となるよう運行計画の見直しなどを検討する。 ・年々利用者数が減少していることから利用者の動態を精査し、沿線利用者の利便性確保を目指す。
26 越後交通(株)	長岡～小千谷①	<ul style="list-style-type: none"> ・運行回数の維持、利便性の確保に努めた。 ・夏休み期間に小学生50円キャンペーンを行い利用促進を実施。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A 【達成状況】 輸送人員前年度比較： 103 % (H30: 39 千人 → R1: 40 千人)	<ul style="list-style-type: none"> ・バス事業者、市町村等と連携し、より効率的な運行となるよう運行計画の見直しなどを検討する。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
27 越後交通(株)	長岡～小千谷②	<ul style="list-style-type: none"> ・運行回数の維持、利便性の確保に努めた。 ・夏休み期間に小学生50円キャンペーンを行い利用促進を実施。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 【達成状況】 輸送人員前年度比較: 99 % (H30: 134 千人 → R1: 133 千人) 【未達成の主な理由】 ・沿線の通勤・通学の利用に関する利用者減のため	<ul style="list-style-type: none"> ・バス事業者、市町村等と連携し、より効率的な運行となるよう運行計画の見直しなどを検討する。 ・年々利用者数が減少していることから利用者の動態を精査し、沿線利用者の利便性確保を目指す。
28 越後交通(株)	長岡～小千谷③	<ul style="list-style-type: none"> ・運行回数の維持、利便性の確保に努めた。 ・夏休み期間に小学生50円キャンペーンを行い利用促進を実施。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A 【達成状況】 輸送人員前年度比較: 100 % (H30: 53 千人 → R1: 53 千人)	<ul style="list-style-type: none"> ・バス事業者、市町村等と連携し、より効率的な運行となるよう運行計画の見直しなどを検討する。
29 越後交通(株)	長岡～出雲崎	<ul style="list-style-type: none"> ・運行回数の維持、利便性の確保に努めた。 ・夏休み期間に小学生50円キャンペーンを行い利用促進を実施。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A 【達成状況】 輸送人員前年度比較: 100 % (H30: 68 千人 → R1: 68 千人)	<ul style="list-style-type: none"> ・バス事業者、市町村等と連携し、より効率的な運行となるよう運行計画の見直しなどを検討する。
30 越後交通(株)	長岡～蓮花寺	<ul style="list-style-type: none"> ・運行回数0.5回減を行い効率化を図った。 ・夏休み期間に小学生50円キャンペーンを行い利用促進を実施。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 【達成状況】 輸送人員前年度比較: 77 % (H30: 39 千人 → R1: 30 千人) 【未達成の主な理由】 ・沿線の通勤・通学及び病院への利用に関する利用者減のため	<ul style="list-style-type: none"> ・バス事業者、市町村等と連携し、より効率的な運行となるよう運行計画の見直しなどを検討する。 ・年々利用者数が減少していることから利用者の動態を精査し、沿線利用者の利便性確保を目指す。
31 越後交通(株)	長岡～与板①	<ul style="list-style-type: none"> ・運行回数の維持、利便性の確保に努めた。 ・夏休み期間に小学生50円キャンペーンを行い利用促進を実施。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 【達成状況】 輸送人員前年度比較: 86 % (H30: 29 千人 → R1: 25 千人) 【未達成の主な理由】 ・沿線の通勤・通学の利用に関する利用者減のため	<ul style="list-style-type: none"> ・バス事業者、市町村等と連携し、より効率的な運行となるよう運行計画の見直しなどを検討する。 ・年々利用者数が減少していることから利用者の動態を精査し、沿線利用者の利便性確保を目指す。
32 越後交通(株)	長岡～柏崎①	<ul style="list-style-type: none"> ・一部経路変更を行い定時性の確保を行った。 ・夏休み期間に小学生50円キャンペーンを行い利用促進を実施。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 【達成状況】 輸送人員前年度比較: 91 % (H30: 95 千人 → R1: 86 千人) 【未達成の主な理由】 ・沿線の通勤・通学及び病院への利用に関する利用者減のため	<ul style="list-style-type: none"> ・バス事業者、市町村等と連携し、より効率的な運行となるよう運行計画の見直しなどを検討する。 ・年々利用者数が減少していることから利用者の動態を精査し、沿線利用者の利便性確保を目指す。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
33 越後交通(株)	長岡～柏崎②	・一部経路変更を行い定時性の確保を行った。 ・夏休み期間に小学生50円キャンペーンを行い利用促進を実施。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A 【達成状況】 輸送人員前年度比較: 104 % (H30: 85 千人 → R1: 88 千人)	・バス事業者、市町村等と連携し、より効率的な運行となるよう運行計画の見直しなどを検討する。
34 越後交通(株)	長岡～与板②	・運行回数の維持、利便性の確保に努めた。 ・夏休み期間に小学生50円キャンペーンを行い利用促進を実施。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 【達成状況】 輸送人員前年度比較: 86 % (H30: 42 千人 → R1: 36 千人) 【未達成の主な理由】 ・沿線の通勤・通学の利用に関する利用者減のため	・バス事業者、市町村等と連携し、より効率的な運行となるよう運行計画の見直しなどを検討する。 ・年々利用者数が減少していることから利用者の動態を精査し、沿線利用者の利便性確保を目指す。
35 越後交通(株)	長岡～小国	・運行回数の維持、利便性の確保に努めた。 ・夏休み期間に小学生50円キャンペーンを行い利用促進を実施。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 【達成状況】 輸送人員前年度比較: 85 % (H30: 73 千人 → R1: 62 千人) 【未達成の主な理由】 ・沿線の通勤・通学の利用に関する利用者減のため	・バス事業者、市町村等と連携し、より効率的な運行となるよう運行計画の見直しなどを検討する。 ・年々利用者数が減少していることから利用者の動態を精査し、沿線利用者の利便性確保を目指す。
36 越後交通(株)	三条～八木ヶ鼻	・運行回数の維持、利便性の確保に努めた。 ・夏休み期間に小学生50円キャンペーンを行い利用促進を実施。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 【達成状況】 輸送人員前年度比較: 90 % (H30: 48 千人 → R1: 43 千人) 【未達成の主な理由】 ・沿線の通勤・通学の利用に関する利用者減のため	・バス事業者、市町村等と連携し、より効率的な運行となるよう運行計画の見直しなどを検討する。 ・年々利用者数が減少していることから利用者の動態を精査し、沿線利用者の利便性確保を目指す。
37 越後交通(株)	八木ヶ鼻～地場産	・運行回数の維持、利便性の確保に努めた。 ・夏休み期間に小学生50円キャンペーンを行い利用促進を実施。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 【達成状況】 輸送人員前年度比較: 72 % (H30: 32 千人 → R1: 23 千人) 【未達成の主な理由】 ・沿線の通勤・通学の利用に関する利用者減のため	・バス事業者、市町村等と連携し、より効率的な運行となるよう運行計画の見直しなどを検討する。 ・年々利用者数が減少していることから利用者の動態を精査し、沿線利用者の利便性確保を目指す。
38 越後交通(株)	小千谷～十日町	・運行回数の維持、利便性の確保に努めた。 ・夏休み期間に小学生50円キャンペーンを行い利用促進を実施。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 【達成状況】 輸送人員前年度比較: 97 % (H30: 61 千人 → R1: 59 千人) 【未達成の主な理由】 ・沿線の通勤・通学及び病院への利用に関する利用者減のため	・バス事業者、市町村等と連携し、より効率的な運行となるよう運行計画の見直しなどを検討する。 ・年々利用者数が減少していることから利用者の動態を精査し、沿線利用者の利便性確保を目指す。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
39 越後交通(株)	小千谷～小国	・運行回数の維持、利便性の確保に努めた。 ・夏休み期間に小学生50円キャンペーンを行い利用促進を実施。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A 【達成状況】 輸送人員前年度比較: 100 % (H30: 25 千人 → R1: 25 千人)	・バス事業者、市町村等と連携し、より効率的な運行となるよう運行計画の見直しなどを検討する。
40 越後交通(株)	柏崎～岡野町①	・運行回数の維持、利便性の確保に努めた。 ・夏休み期間に小学生50円キャンペーンを行い利用促進を実施。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 【達成状況】 輸送人員前年度比較: 71 % (H30: 41 千人 → R1: 29 千人) 【未達成の主な理由】 ・沿線の通勤・通学及び病院への利用に関する利用者減のため	・バス事業者、市町村等と連携し、より効率的な運行となるよう運行計画の見直しなどを検討する。 ・年々利用者数が減少していることから利用者の動態を精査し、沿線利用者の利便性確保を目指す。
41 越後交通(株)	柏崎～岡野町②	・運行回数の維持、利便性の確保に努めた。 ・夏休み期間に小学生50円キャンペーンを行い利用促進を実施。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A 【達成状況】 輸送人員前年度比較: 120 % (H30: 35 千人 → R1: 42 千人)	・バス事業者、市町村等と連携し、より効率的な運行となるよう運行計画の見直しなどを検討する。 ・年々利用者数が減少していることから利用者の動態を精査し、沿線利用者の利便性確保を目指す。
南越後観光バス(株)					
42 南越後観光バス(株)	小千谷～小出	・減便を実施し、経費削減に努めた。 ・運行時刻の見直しを行い、各自治体の交通網との調整を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 【達成状況】 輸送人員前年度比較: 84 % (H30: 80 千人 → R1: 67 千人) 【未達成の主な理由】 ・運行回数をH30:7.9回→R1:7.5回に減便し経費削減を図ったため。 ・少子高齢化による通勤・通学利用者の減少。	・バス利用者の動態を精査し、運行時刻の見直しなどを検討して利用者数の維持を目指す。
43 南越後観光バス(株)	小出～栃尾又	・減便を実施し、経費削減に努めた。 ・運行時刻の見直しを行い、各自治体の交通網との調整を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 【達成状況】 輸送人員前年度比較: 68 % (H30: 57 千人 → R1: 39 千人) 【未達成の主な理由】 ・運行回数をH30:9.2回→R1:7.5回に減便し経費削減を図ったため。	・バス利用者の動態を精査し、運行時刻の見直しなどを検討して利用者数の維持を目指す。
44 南越後観光バス(株)	六日町～小出	・運行時刻の見直しを行い、各自治体の交通網との調整を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 【達成状況】 輸送人員前年度比較: 98 % (H30: 56 千人 → R1: 55 千人) 【未達成の主な理由】 少子高齢化による通勤・通学利用者の減少。	・バス利用者の動態を精査し、運行時刻の見直しなどを検討して利用者数の維持を目指す。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
45 南越後観光バス(株)	六日町～湯沢	<ul style="list-style-type: none"> ・減便を実施し、経費削減に努めた。 ・運行時刻の見直しを行い、各自治体の交通網との調整を図った。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 【達成状況】 輸送人員前年度比較: 97 % (H30: 36 千人 → R1: 35 千人) 【未達成の主な理由】 ・運行回数をH30:5.6回→R1:5.4回に減便し経費削減を図ったため。	<ul style="list-style-type: none"> ・バス利用者の動態を精査し、運行時刻の見直しなどを検討して利用者数の維持を目指す。
46 南越後観光バス(株)	十日町～津南	<ul style="list-style-type: none"> ・系統の終点を変更(路線の延長)し、利便性の向上に努めた。 ・減便を実施し、経費削減に努めた。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 【達成状況】 輸送人員前年度比較: 97 % (H30: 113 千人 → R1: 110 千人) 【未達成の主な理由】 ・運行回数をH30:11.9回→R1:11.3回に減便し経費削減を図ったため。	<ul style="list-style-type: none"> ・バス利用者の動態を精査し、運行時刻の見直しなどを検討して利用者数の維持を目指す。
頸城自動車(株)					
47 頸城自動車(株)	上越妙高駅前～鶺の浜	<ul style="list-style-type: none"> ・H28.10に路線再編を実施。[再編実施計画に基づきH32.3.31迄現行継続] ・バス乗車体験キャンペーンやお得な乗車券のPR・販売等、バス利用促進を実施。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 【達成状況】 輸送人員前年度比較: 97 % (H30: 220 千人 → R1: 213 千人) 【未達成の主な理由】 少子化の影響で通学利用者が減少した。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用状況の把握に努め、より効率的な運行ができるよう検討する。 ・バス事業者、市町村等と連携し、バス利用促進に取り組む。
48 頸城自動車(株)	中央病院～新井バスターミナル	<ul style="list-style-type: none"> ・H28.10に路線再編を実施。[再編実施計画に基づきH32.3.31迄現行継続] ・バス乗車体験キャンペーンやお得な乗車券のPR・販売等、バス利用促進を実施。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A 【達成状況】 輸送人員前年度比較: 100 % (H30: 81 千人 → R1: 81 千人)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用状況の把握に努め、より効率的な運行ができるよう検討する。 ・バス事業者、市町村等と連携し、バス利用促進に取り組む。
49 頸城自動車(株)	鶺の浜～柿崎バスターミナル	<ul style="list-style-type: none"> ・H28.10に路線再編を実施。[再編実施計画に基づきH32.3.31迄現行継続] ・バス乗車体験キャンペーンやお得な乗車券のPR・販売等、バス利用促進を実施。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A 【達成状況】 輸送人員前年度比較: 114 % (H30: 7 千人 → R1: 8 千人)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用状況の把握に努め、より効率的な運行ができるよう検討する。 ・バス事業者、市町村等と連携し、バス利用促進に取り組む。
50 頸城自動車(株)	マルケーバスセンター～浦川原バスターミナル	<ul style="list-style-type: none"> ・H29.4に路線再編を実施。[再編実施計画に基づきH32.3.31迄現行継続] ・バス乗車体験キャンペーンやお得な乗車券のPR・販売等、バス利用促進を実施。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 【達成状況】 輸送人員前年度比較: 99 % (H30: 68 千人 → R1: 67 千人) 【未達成の主な理由】 回数券利用者が少し減少した。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用状況の把握に努め、より効率的な運行ができるよう検討する。 ・バス事業者、市町村等と連携し、バス利用促進に取り組む。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
くびき野バス(株)					
51 くびき野バス(株)	高田駅前～深山荘	<ul style="list-style-type: none"> ・H28.10に上越市の再編実施計画に基づき路線再編(経路変更)を実施。[H32.3.31まで継続] ・バス乗車キャンペーンやお得な乗車券のPR・販売等、バス利用促進を実施 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A 【達成状況】 輸送人員前年度比較: 105 % (H30: 33 千人 → R1: 35 千人)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用状況の把握に努め、より効率的な運行が出来るよう検討する。 ・バス事業者、市町村等と連携してバス利用促進に努める。
52 くびき野バス(株)	高田駅前～牧小学校前	<ul style="list-style-type: none"> ・H28.10に上越市の再編実施計画に基づき路線再編(経路変更)を実施。[H32.3.31まで継続] ・バス乗車キャンペーンやお得な乗車券のPR・販売等、バス利用促進を実施 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A 【達成状況】 輸送人員前年度比較: 113 % (H30: 13 千人 → R1: 14 千人)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用状況の把握に努め、より効率的な運行が出来るよう検討する。 ・バス事業者、市町村等と連携してバス利用促進に努める。
新潟交通佐渡(株)					
53 新潟交通佐渡(株)	両津～相川	<ul style="list-style-type: none"> ・佐渡市活性協事業として、観光客向け(外国人含む)パンフレットを作成し、フリー乗車券も販売し、観光客利用増に努めた。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 【達成状況】 輸送人員前年度比較: 99 % (H30: 196 千人 → R1: 195 千人) 【未達成の主な理由】 9月の相次ぐ台風による観光客数減、島内人口減に伴う利用者減。	<ul style="list-style-type: none"> ・佐渡金銀山の世界遺産登録に向けた動きが進めば観光客の増加につながるので、佐渡市と連携して活動、誘客に努め、バス利用客増を図る。